

製品名: CYCS(4B10)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM09614**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット、その他
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	CYCS
別名	CYCS; CYC; Cytochrome c
遺伝子 ID	54205.0
SwissProt ID	P99999
免疫原	CYCS の組み換えタンパク質

背景

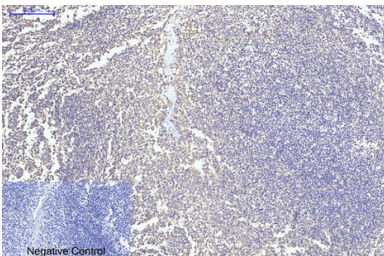
この遺伝子は、ミトコンドリアにおける電子伝達系の中心的構成要素として機能する小さなヘムタンパク質をコードしています。

コードされているタンパク質はミトコンドリアの内膜に結合し、シトクロム b から電子を受け取り、シトクロム酸化酵素複合体へと伝達します。このタンパク質はアポトーシスの開始にも関与しています。この遺伝子の変異は、常染色体優性非症候性血小板減少症と関連しています。この遺伝子のプロセスされた偽遺伝子が、ヒトゲノム全体に多数存在しています。[RefSeq 提供、2010年7月]、疾患: CYCS の欠陥は、常染色体優性血小板減少症 4 型 (THC4) [MIM:612004] の原因です。血小板減少症は、血液中の血小板が比較的少ない状態です。THC4 は、非症候性の血小板減少症です。血小板減少症の臨床症状は現れないか、軽度です。THC4 は、血小板形成の異常によって引き起こされる可能性があります。機能: 電子伝達タンパク質。シトクロム c ヘム基の酸化型は、シトクロム還元酵素のシトクロム c1 サブユニットのヘム基から電子を受け取ることができます。シトクロム c は、この電子をミトコンドリア電子伝達系における最終的なタンパク質キャリアであるシトクロム酸化酵素複合体に伝達します。機能: アポトーシスにおいて役割を果たします。Bcl-2 ファミリーの抗アポトーシス因子の抑制、またはプロアポトーシス因子の活性化は、ミトコンドリア膜の透過性を変化させ、シトクロム c を細胞質へ放出します。シトクロム c が Apaf-1 に結合するとカスパーゼ 9 が活性化され、他のカスパーゼを活性化することでアポトーシスが促進されます。オンライン情報: Life shuttle - 2006 年 11 月号 76, PTM: サブユニットごとに 1 つのヘムグループを結合します。類似性: シトクロム c ファミリーに属します。、

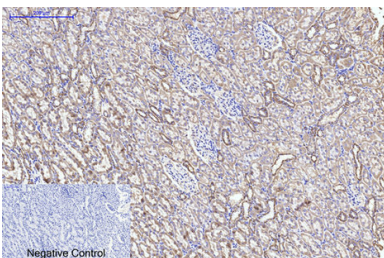
研究分野

p53; アポトーシス阻害; ミトコンドリアアポトーシス; アポトーシスの概要; アルツハイマー病; パーキンソン病; 筋萎縮性側索硬化症 (ALS); ハンチントン病; がんの経路; 大腸がん; 小細胞肺がん; ウイルス性心筋炎;

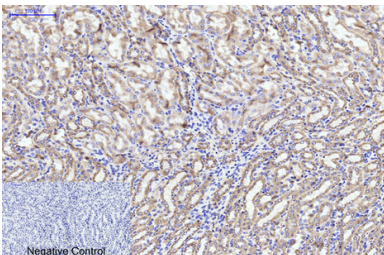
画像データ



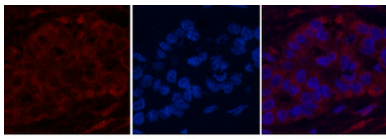
パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学染色。1. CYCS モノクローナル抗体 (4B10) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



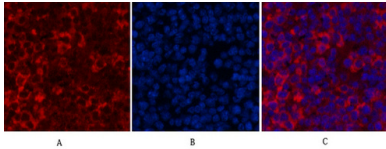
パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学染色。1. CYCS モノクローナル抗体 (4B10) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



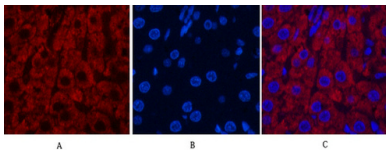
パラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学染色。1. CYCS モノクローナル抗体 (4B10) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



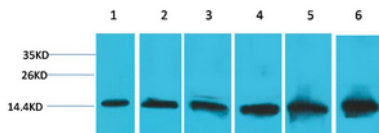
ヒト肝臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCSモノクローナル抗体 (4B10) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



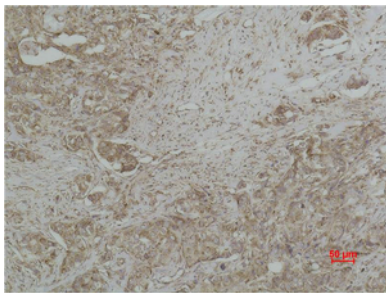
マウス脾臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCSモノクローナル抗体 (4B10) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



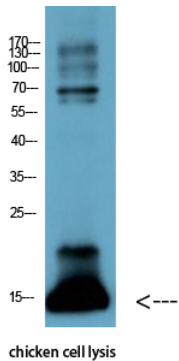
ラット肝臓組織の免疫蛍光染色。1, CYCSモノクローナル抗体 (4B10) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



CYCSモノクローナル抗体を用いた 1) HeLa、2) 293T、3) 3T3、4) マウス肝臓組織、5) ラット肝臓組織、6) ラット腎臓組織のウェスタンブロット解析。



CYCSモノクローナル抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。



1:1000 に希釈した抗体を用いたニワトリ細胞溶解のウェスタンブロット分析